

福井市



箭田地区の被災者を元気づけようと、横断幕に寄せ書きする日之出地区の子どもたち。29日、福井市四ツ井一丁目四ツ井公園



被災真備(岡)へ寄せ書き

交流の日之出住民心込め

西日本豪雨で大規模な浸水に見舞われた岡山県倉敷市真備町地区にある箭田地区の被災者を元気づけようと、福井市日之出地区の住民が寄せ書きを集めている。29日は地区の夏祭りを訪れた小学生らが励ましのメッセージを寄せた。

「まちづくり全国交流大会」をきっかけに交流を続けており、それぞれのまちづくり協議会(まち協)が主体となり、住民どうしが交流している。多くの住民が集まる夏祭りに合わせて、ひのでまち協が横断幕を用意。「熱中症に気を付けて」「みんなの笑顔が一日も早く戻りますように」など、子どもたちが年度ごとに書き込まれた。小学

生の頃、計2回交流事業に参加した山田陽菜乃さん(成和1年)は「友達がたくさんいるので無事かどうか心配」と話し、「またスキーに行こうね」などと話したためた。

横断幕は日之出公民館に移され、訪れた住民らのメッセージを集める。夏休み明けには日之出小に持って行き、書いてもらった。このほか、箭田に送る

義援金も地区の住民を対象に集めている。山田年克会長によると「予想以上のペースで、皆さんの温かい支援の気持ちを感じる」と話していた。寄せ書きと義援金は10月中旬、山田会長らが直接持って行く予定。(大久保直輝)